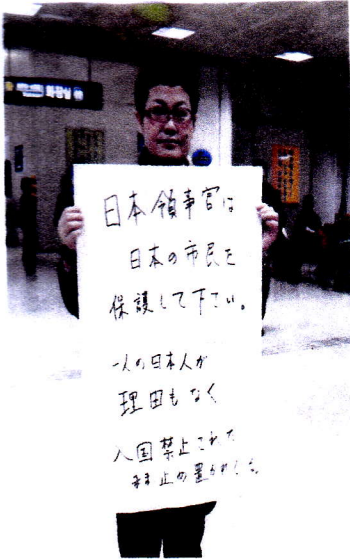


## 八木隆次さん (平和フォーラム) 入国禁止、強制送還

昨年10月。八木隆次さん、李吉珠さん(済州大学)、板倉が話しあって、八木さんが、日本語版ホーム・ページ『済州島を守ろう!』(検索して、ごらんになって下さい)をつくって、基地反対闘争を紹介していました。31日、八木さんが入国を禁止されると、4人が空港に駆けつけ、関係機関と交渉し、抗議の「一人示威」をしました。韓国の権力が基地建設の「実態」を知られることを恐れています。

《京郷新聞、2012/4/2》

### カンジョン村会、海外活動家入国禁止に抗議声明



(要旨) カンジョン村の声明文が次の諸点を述べている。済州出入国管理所が、カンジョン村を訪問しようとした日本の平和活動家、八木隆次氏(日本平和フォーラム)を理由も告げないまま、5時間以上も抑留した後、日本に強制送還した。政府は、済州海軍基地が、東北アジア全体の戦争の危機を煽る効果だけを持っているとする国内外の否定的視線を憂慮して、カンジョン村を訪ねようとする海外の平和活動家のブラックリストをつくって入国拒否の措置をとっている。平和活動家が入国禁止、強制送還させられたのは今回が初めてではない。3月14日に米国の平和在郷軍人会の3名が入国禁止され、「アジア共同行動」女性活動家たちにも同じ措置がとられた。現在、6名の「アジア共同行動」関係の日本人に対して、カンジョン村との連帯活動を理由に、入国禁止措置をとっている。政府は今回の措置をとった理由と法的な根拠を詳細に明らかにし、抑留と強制送還に伴う人権問題に関して、謝罪と補償をし、再発防止の措置をとらなければならない。

写真=「一人示威」をする李吉珠さん(《済州道民日報、4/2》)

### 黄色(菜の花)、紅(椿)、ピンク(桜)、青い漢拏山…

### 「済州島4・3事件の再現」、「戒厳令下」、「戦場」…

3月30日(金)から、5泊6日のカンジョン村訪問旅行(7回目)をしました。前半、飯田長姫高校の米山義盛先生が同行されました。菜の花、椿、桜が咲き、神秘的に美しい漢拏山が姿を見せる日と、ビシビシと冷たい雨が降り、烈風で吹き飛ばされ、地面に伏した日がありました。

31日(土)午後、「第10次全国市民行動集会」。日本からの参加予定者が入国禁止になった報告に会場がざわめいたので、私が名乗り出て連帯のあいさつをしました。基地を取り巻くヘンスに沿って、デモ行進。「海軍基地一必死反対!」が、「海賊基地一必死反対!」に変わりました。カンジョン港で終結。ムン・ジョンヒョン(路上の)神父が、防波堤の上で若い戦闘警察隊員ともみ合いながら、クロンビ岩の方向に進むと、歓声を上げる参加者がいました。

4月1日。能美市から訪れた清光さん夫妻を案内していて、新しくつくられた平和会館側の交差点で数人の若い男女が座りこみ、警察官とたたかっている間、一般車両が停止させられていました。午後、籠城小屋で、「八木さん問題」の対策を話し合っている時、風に乗って催涙弾の臭いが流れてきました。この日、民主労総の集会で、この村で初めて催涙弾が使われたそうです。「宋博士」が鉄条網を越えて進入し、戦闘警察官たちの袋叩きあって、歯を折るなどのけがをしたそうです。ヘンスに穴をあけ、ボートで、泳いで、基地地内に進入して逮捕される事件が頻発しています。(「誤った英雄主義」と批判する人がいました)

6日に、ムン・ジョンヒョン神父が、31日と同じような状況下で、転落して重傷を負ったと言う報道がありました。「遊ぼう!遊ぼう! カンジョン文化祭」の司会をした活動家が、基地建設事業体の正門前で首つり自殺を図ったそうです。(未遂)。全国からやってくる平和、民主、人権、環境、宗教、労働などの活動家と、「非暴力、徹底抗戦の方針」のカンジョン村基地対策委員会との「協議、共同の場」はつくられていなくて、それぞれが独自の闘争を展開しているようです。さし迫った総選挙が話題になることがありませんでした。昨年10月には、大勢参加していた村人(子どもたちも)は、今回は、少数しか参加していなかったようです。

上野誠の《希望》、森獏郎の《済州方言・オラホの憲法9条》(版画)、萱野勝美の《松代大本営》

(写真)をカンジョン村に贈呈しました。カンジョン村会館に展示されます。適当な時期に、カンジョン村をはじめとする島内各地で、「日本国憲法と松代大本営展」を開催する予定です(板倉弘実)。